

「光輝（かがやき）」プログラム			幼小接続期	2年生	(全 38 時間)
2年生で育成したい資質・能力					
育成したい 資質・能力	躍動する感性	①	人間味溢れる豊かな感覚	身近なものや人とかかわる中で、おもしろさや不思議さなどを豊かに感じ取るとともに、自分とは異なる感じ方があることに気付き、その感じ方に興味をもったり、受け入れたりすることができる。	
		②	自ら学ぼうとする姿勢	学校生活や授業の中から自己を見つめ直し、前向きに取り組むことができる。	
	レジリエンス	③	粘り強く取り組む力	自分（たち）が決めた目標に対して、継続して取り組むことができる。	
		④	コラボレーションする力	友達と交流することで、考えの違いを認め、協力してさらによりよい考えにしていけることができる。	
		⑤	複眼的に思考する力	身近な人や友達の様々な方法や考え方にふれ、より良い考えをもつことができる。	
	横断的な知識	⑥	知識と知識を関連づけながら深く追究する力	今まで経験したことや学んだことを生かして、新たな気付きを見いだしたり、解決へ向けて試したりすることができる。	
		⑦	論理的に問題を解決する力	身近な人や友達の様々な方法や考え方にふれ、より良い考えをもつことができる。	

単元名	「あつまれ！2年生の森！」
単元を通してめざす子ども像	子どもたちがこれまでに経験してきたり学んだりしたことを生かして、「2年生の森づくり」に取り組もうとしている。2年生の森づくりを通して、友達の考えや自分の考えを交流しながら、より良いものを求めようと粘り強く取り組み、失敗やうまくいかないことも経験しながら、解決へ向けて試行錯誤している。

段階	I (1~4)	II (5~25)	III (26~34)	IV (35~38)	
学習課題	1年生までの学習や経験をもとに、2年生の「光輝（かがやき）」では、どんなことに取り組みたいか。	各プロジェクトでの目的を達成するために、どんな活動が考え、どんな活動を行ったか。	「あつまれ！2年生の森！」ツアーの目的を達成するために、どんなツアー（発表会）にすればよいか。	「あつまれ！2年生の森！」の学習学習を通して、どんな力が身に付き、次の学習へ生かしたいか。	
育成したい 資質・能力	人間味溢れる豊かな感覚			「もっと「2年生の森」を続けたい、よりよくしたい」等の思いをもつ 振り返る・評価する	
	自ら学ぼうとする姿勢		個人や各プロジェクトで、やりたいことを考える 議論する・作り出す	自分たちが主体となって「あつまれ！2年生の森！」ツアーを実施する 実施する・実行する	
	粘り強く取り組む力			試行錯誤しながら、「あつまれ！2年生の森！」ツアーの内容を考える 議論する・作り出す	
	コラボレーションする力		プロジェクトの活動内容について話し合う 議論する・作り出す	友達と協力して「あつまれ！2年生の森！」ツアーのお楽しみ会の準備を進める 協力する・準備する	
	複眼的に思考する力		プロジェクトの活動内容について話し合う 議論する・作り出す	友達と意見を交わしながら、「あつまれ！2年生の森！」ツアーの内容を考える 議論する・作り出す	
	知識と知識を関連づけながら深く追究する力		既存の知識や経験をもとに考える 関連付ける・応用する		
	論理的に問題を解決する力		プロジェクトの活動内容について話し合う 議論する・作り出す		
関連する 活動	教科	生活科	国語（話す・聞く）	図画工作、体育	
	見方や考え方	身近な人々と自分との関わり	言葉の働き	感性・想像力、楽しさ・喜び	
	道徳	活動		道徳資料「アンリ・ファーブル」を題材として、生き物の命の大切さについて話し合った。	「あつまれ！2年生の森！」ツアーや「光輝（かがやき）」の学習そのものを振り返ることを通して、協力し合うことの大切さについて話し合った。
		内容項目		生命尊重	友情・信頼
	道徳	活動			
		内容項目			
特活	はたらきかけ	1年生までの学習や経験を想起できるような場を設定することで、「2年生の光輝（かがやき）」では〇〇をやってみよう！という思いや願いをもつことができるようにする。	今までの経験を友達と交流しながら、それらをもとに自分たちで活動を考え、決定することを促し、それらの姿を根気強く見守る。	友達と協力したり、試行錯誤したり、自ら進んで動いたりしながら、よりよいお楽しみ会にしようとする姿を賞賛する。	
	はたらきかけ			学習を通して「附属三原小を自然いっぱい、笑顔いっぱいの学校にしたい」という思いは実現できたのかを、具体的に振り返る場を設定する。	
評価方法	ポートフォリオ・観察	ポートフォリオ・観察	ポートフォリオ・観察・表現物	ポートフォリオ・発表	

「光輝（かがやき）」実践記録			幼小接続期	2年生	(全38時間)
単元名			「あつまれ！2年生の森！」		
段階	評価方法	資質能力	子どもの姿	教師の気づき	
				計画変更点・理由	有効であった手立て
I	観察	① ②	<p>1年生までの学習や経験を想起し、「2年生の「光輝（かがやき）」では〇〇をしたい！」という思いや願いが、友達同士や教師との会話の中でも多く聞かれるようになった。</p> <p>「光輝（かがやき）」の学習につながるような活動や準備、情報の収集等に自発的に取り組む児童の姿が多く見られた。</p>	<p>子ども達の興味・関心が高かったものが生き物の飼育や、植物の栽培だったため、生活科の学習をベースにして、「あつまれ！2年生の森！」の単元を構想した。</p>	<p>2年生の「光輝（かがやき）」の学習に対する思いを教数することができるように、1年生のまでの学習や経験を共有する場を設定したこと。</p>
II	観察	① ②	<p>「〇〇プロジェクトではどんな活動をしようかな」「ぼくは、〇〇をしたいな」など、具体的な思いや願い、見通しをもって、「自分たちで2年生の森をつくりあげよう」という意欲的に取り組む姿勢が見られた。</p> <p>② 各プロジェクトで話し合う中で、お互いのやりたいことを尊重しながら、それぞれの思いや願いをもとに、プロジェクトの中で役割分担したり、それぞれの特異なことを生かした活動を考えたりする姿が見られた。</p>		<p>附属三原小学校を自然いっぱい为学校にするために自分がやりたいことや、みんなでやりたいことを出し合う場を設定し、それらを、意図的に分類・整理して板書することで、2年生の森では「博物館プロジェクト」「花や木プロジェクト」「野菜プロジェクト」「生き物の森プロジェクト」の大きく4つのプロジェクトに整理できることを子ども達と共有した。</p>
III	観察・インタビュー	③ ④	<p>友達とかかわり合い、試行錯誤しながら、意欲的に「「あつまれ！2年生の森！」ツアー」の準備に取り組む姿が見られた。また、教師によるインタビュー際に、「どうしてそんなことを思いついたの」という問いに対して、「幼稚園の頃にやったことがあって…」「図書館で本を借りてきて調べて…」「タブレットで調べて…」などの、既知の知識や経験をもとに考えている発言が聞かれた。</p>	<p>子ども達の思いや願いから、ツアーの対象を学級の友達に設定し、各プロジェクトの発表会という形式ばった形をとらず、「ツアー」のようなお店屋さんごっこ形をとった。</p>	<p>「「あつまれ！2年生の森！」ツアー」に向けて、内容を話し合う際には、友達と何度もじっくりと話し合ったり、お楽しみ会でのしっぽりのルールを考える際には、実際にやってみて考えたりする姿を期待し、時間と場所を保障し、見守りながら、必要に応じて支援した。</p>
IV	振り返り	① ②	<p>「博物館期来てくれた人が、「すごいね」って言ってくれて、うれしかったよ」「みんなで協力したから、自分たちの力でできたよ」「生き物の命を大切にできるようになったよ」などのめあてに対する振り返りの記述や、「まだこの続きをやりたい」「次にやる時は、栽培する野菜や花や木の種類を増やしたい」などの率直な思いの記述も見られた。</p>		<p>「「あつまれ！2年生の森！」ツアー」に、全体での振り返りの場をもち、子ども達が感じた率直な思いを共感的に受け止めた。</p>